

令和 6 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人嬉野町社会事業助成会

目 次

1. 総括	2
2. 事業方針の実績	2
3. 部門別の実績	6
3. 1 総務部	6
3. 1. 1 総務課	6
3. 1. 2 ケアハウス	6
3. 2 施設サービス	7
3. 2. 1 特養・ショートステイ	7
3. 3 在宅サービス	9
3. 3. 1 居宅介護支援事業	9
3. 3. 2 通所介護事業（デイサービス）	10
3. 4 嬉野市受託事業	12
3. 4. 1 いきがいデイサービス事業（湯っくらと）	12
3. 4. 2 在宅介護支援センター	12
3. 5 嬉野西部地域包括支援センター	13
4. 部門共通	14
(1) 年間行事	14
(2) 理事会・評議員会議事	15
(3) 施設内会議・第三者参加委員会	17
(4) 施設内委員会	18
(5) 施設外委員会	19
(6) 職員研修会（職場内）	20
(7) 職員研修会（職場外）	21
(8) 実習等の受入れ	24
(9) ボランティア・訪問等	25
(10) 介護事故・ヒヤリ・ハットの発生状況	26
(11) 労働災害状況	27
(12) 苦情・意見の状況	27

1. 総括

経営面では、前年度に引き続き経営状況の改善に取り組んだ。しかし、物価高騰の影響や在宅サービスの利用者減少が続く中、未だ厳しい状況であった。次年度は特養定床化の増床、通所介護事業の統合等により、経営の安定を目指す。

運営面では、8月に新型コロナウイルスの集団感染や、年間通しての入院者も多かった。次年度は、感染予防対策の強化に加え、入所者の健康管理をより一層徹底し、安心して過ごせる環境を整えていく。

また、設備面では、トイレを洗浄機能付きのものに変更したことで、衛生面の向上と介護負担の軽減を図ることができた。また、職員の業務中の怪我防止に努めた結果、労災申請を要する事故は発生せず、安全な運営を維持できた。

2. 事業方針（重点的取組）の実績

(1) 経営状況の回復

① 入所調整、利用調整の強化

経営会議や部長会議、部所会議等で稼働状況の検証を行った。各事業所では稼働改善会議を開催して稼働、経営の改善に取り組んだ。特養では待機者の安定した確保に課題があり、入所受付管理について入所受付から待機に至る管理の見直しを行った。十分な実績にはつながっていないが継続して行っていくことで稼働改善につなげていく。

在宅系では特に通所介護事業で新規利用者確保が年々難しくなっており、事業の継続、事業内容の検討を行った。次年度の事業運営へとつなげていく。

② 事業内容の見直し

経営状況の改善及び事業運営の安定を目的に特養ではショートステイ定床化2床の増床申請、内示を受けた。令和7年6月から特養56床、ショートステイ14床へ定員を変更していく。

在宅系では、通所介護事業の運営について協議、検討を重ね、令和7年7月から嬉野デイサービスセンター春風荘へ通所介護事業所を統合、同月からデイサービスセンターうれしのは休止することとした。次年度は、施設・在宅系において事業運営体制が変更となるが、定期的な検証や評価を行い、それぞれに目標稼働が達成できるように取り組んでいく。

③ 感染・災害における事業の継続

4月からBCP運用を行った。防災研修会等で周知を行い、運用しながら計画の見直し等を行った。

災害関連では、BCPを発動することはなかった。感染関連では8月に、特養の新型コロナウイルスによる集団感染が発生した際は、BCPに基づき、法人内職員の協力調整や入所者の生活支援にかかるサービス提供について一部、制限をかけて対応した。

④ 経費の節減の検討、見直し

物価高騰の影響は大きく、特に主食の米、食材料費、光熱費が増加した。その中でも紙オムツ類の種類等の見直しにより一定の経費削減に努めることができた。

また、事業所ごとの食費について、情報収集や検討を行った。次年度も継続して協議を行うが、物価状況等に応じて、食費改定を検討する。

(2) サービスの質の向上

① 信頼関係作りの強化

法人全体では、苦情 2 件を受付けた。内容は車両運転、ケアマネジメントに関するものだった。改善に向けて、協議や検討を行い、適切なサービス提供に取り組んだ。

また、尊厳あるサービスの提供として、プライバシーに配慮したケアカルテの記録内容（画像含む）の見直しを行った。

特養においては感染予防対策を継続しつつ、面会方法の一部、緩和を行った。

また、利用者の誕生食会においては家族参加も再開し、利用者、家族、職員とのコミュニケーションを図る機会を増やすことができた。

② 安全な介護の実践

抱え上げない介護については走行式移乗リフト等の活用により推進と定着が見られるようになった。

褥瘡、蜂窩織炎、口腔ケア、誤嚥性肺炎予防等の取り組みは歯科医師、業者等を講師に招き研修会を実施した。研修受講に留まらず、学んだ知識や手技を日頃のケアで共有、実践していきたい。

③ 科学的介護推進のための LIFE の運用

前年度と同様に基本介護計画の実績評価について、改善が進まなかったことから加算取得までの準備、運用ができなかった。該当する事業所と再度、計画、工程の共有を図りながら取り組んでいく。

④ 業務効率化の推進

介護ロボット及びデジタル化の推進は機器の検討のみとなった。導入に向けて、機器導入に関する研修受講を行った。研修内容を参考に介護職員等と協議を重ね、実用的で業務効率化につながる機器導入を行っていく。

⑤ 第三者評価の検討

外部評価である第三者評価の情報収集を行った。サービスの質の向上に向けて、事業所の課題や取り組み等を第三者にて評価することは必要と考える。まずは、評価システムを理解することから始め、受審の必要性、他の評価方法等の検討を行っていく。

(3) 人材育成と人材確保

① 採用計画の作成

県内および近隣で開催される就職企業説明会へ積極的に参加し、法人の PR と採用に向けての活動を行った。年々、介護事業所への求職者は減少しており、人材確保に課題を抱えている。

今年度は令和 7 年度採用の大学卒、専門職を採用することができた。高年齢者の比率が高くなっており、若年者の確保のため職場の魅力づくりに取り組んでいく。

② OFF-JT（職場外研修）および OJT（職場内訓練）の実践

職場内研修会は年間 13 回を企画、開催した。外部研修会へは Web 開催含め、年間 90 件の研修等に参加し、受講した内容については研修報告を行った。今後も研修内容が業務や問題解決等につながるように情報共有および体制を構築していく。

③ 法人・事業所の PR 強化

ホームページのリニューアルを行った。運用するにあたり、定期的に情報更新を行い、法人の最新情報を発信していく。

合同企業説明会へ積極的に参加した。法人の PR 動画、事業内容のスライドを参加者に合わせて作成し、介護体験も取り入れ PR 強化に努めた。

(4) 職場環境改善と働き方改革の定着

① 働き方改革の継続および検討

福利厚生の充実としてバースディ休暇は取得率が高く定着できた。

また、衛生委員会主催で外部講師を招き、「こころの健康」をテーマにメンタルヘルスケアに関する職員研修会を開催した。

職場及び介護現場におけるハラスメント防止に関する指針・マニュアルの検討、整備に努めた。令和 7 年 4 月から運用していく。

時間外労働や業務負担を軽減するために業務改善を継続的に行っている。改善が図れてきたが、一部、課題を要する事業所（職種）については業務分担や協力、相談体制の強化を図ることで働きやすい環境の整備に努めていく。

② 労災ゼロの検証、実践

8 月に特養で発生した新型コロナウイルスの集団感染に伴う職員の労働者死傷病報告を行ったが、事故、ケガによる労災申請はなく、安全な運用ができた。次年度も事故、ケガ等が発生しないよう安全管理に努めていく。

③ 職員の健康増進の検討

通常健康診断時に 40 歳以上が対象なる付加検診を導入した。

健康診断後の再検者への受診の促し及び保健指導を積極的に取り入れ、健康管理に努めた。

職場全体での健康増進として地域コミュニティ主催のウォーキングに小人数ではあったが参加ができた。次年度も衛生委員会等と協力して企画、検討していく。

(5) 地域貢献および地域における公益的取り組み

① 地域貢献活動の検討、実施

実習、ボランティア活動については積極的に受入れを行った。より充実した教育ができるように実習に関しては実習指導者の養成に努めていく。

また、地域貢献活動として管理栄養士による介護者教室開催や地域コミュニティ活動への協力、地域の清掃活動等に取り組んだ。

② 福祉の仕事の魅力発信

ホームページのリニューアルを行った。定期的に最新の情報更新を行い、法人の取り組み及び魅力発信につなげていく。

町内の小・中学生を対象にボランティアスクール、職場体験学習を通じて、介護体験や仕事内容の説明を行った。次年度も積極的に受入れを行っていく。

(6) 施設設備

① 介護ロボット、デジタル機器等の導入

走行式移乗リフト 1 台を導入して約 1 年半が経過。リフト使用の推進に取り組み、定着してきた。次年度は 1 台増やす予定。介護者、利用者へ安全及び身体面の負担軽減につなげていきたい。

インカム、他機器は検討のみで、導入に至らなかった。介護職員等の負担軽減や業務改善につながる機器導入を検討していく。

② トイレの改修

特養棟のトイレに温水洗浄便座 13 台の設置を行った。

また、居室トイレの 1 室に縦型手すりを設置した。今後、評価を行い、追加設置も検討していく。

③ 浴室のリニューアル

特養に併設する通所介護事業の休止により、浴室、脱衣室のリニューアルの再検討が必要となった。次年度以降に取り組む。

また、春風荘においては開設 30 年で、経年劣化が目立っているため、改修工事を検討していく。

3. 部門別の実績

3. 1 総務部

3. 1. 1 総務課

事業計画に基づき、経費削減に取り組んだ。ポスターを作成し節電、消耗品などの節約使用について、職員へ啓発活動を行ったが、物価高騰により大きな削減には至らなかった。しかし、特養の介護消耗品（紙オムツ）については、種類の検討、見直しにより経費節減に一定の効果があった。引き続き、全職員で経費節減に取り組んでいく。

また、ホームページのリニューアルを行った。運用にあたり、定期的に情報更新を行い、法人の最新情報を発信していきたい。

業務においては、発注、支払い及び領収等会計業務で 3 件ミスが生じた。要因の検証、改善策を講じて適切な管理ができるように努めていく。

3. 1. 2 ケアハウス

(1) 利用実績 延べ数 5,349 人 平均 14.7 人 稼働率 98.0 % (目標 96.6%)

(人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
計画	435	449	435	449	450	435	450	435	449	449	406	450	5,292
実績	420	429	446	465	465	442	434	435	465	464	420	464	5,349
計画比	-15	-20	11	16	15	7	-16	0	16	15	14	14	57
前年度	450	450	449	465	443	420	434	415	401	433	407	432	5,199
前年比	-30	-21	-3	0	22	22	0	20	64	31	13	32	150

(2) 入退居者の状況

(人)

年度	入居者	入所前	退所者	退所理由
6 年度	1	在宅	1	入院
5 年度	3	在宅・病院	2	入院
前年度比	-2		-1	

入居：1 名（男性：0 名 女性：1 名） 退居：1 名（男性：0 名 女性：1 名）

空床/空室期間 28 日

(3) 取組と評価

今年度は入退居、入院者が少なく、稼働人数は 14.7 人で、目標稼働の 14.5 人を達成した。入居順位の確定によりスムーズな入居につなげることができた。

入居者 2 名が新型コロナウイルスに感染し、施設内で療養対応した。施設内ゾーンニング、健康管理等の感染対策を実施し、施設内の感染拡大はなかった。

サービスの質の向上として、レクリエーションの見直しを行った。要望が多かったドライブは入居者に喜んでもらうことができた。

県次世代部会の幹事として委員会に出席し、各施設での課題等をもとに意見交換を行った。当施設においても自費利用料金の改定、感染対策等の見直しに取り組んだ。

3. 2 施設サービス

3. 2. 1 特養・ショートステイ

(1) 利用実績

特養 延べ数 18,548 人 平均 50.8 人／日 稼働率 94.1% (目標 98.1%)

ショートステイ 延べ数 4,386 人 平均 12.0 人／日 稼働率 75.1% (目標 87.5%)

* () : 目標稼働 (人)

特養		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
	計画	1,590	1,643	1,590	1,643	1,643	1,590	1,643	1,590	1,643	1,643	1,484	1,643	19,345
	実績	1,517	1,587	1,567	1,642	1,617	1,455	1,508	1,447	1,572	1,599	1,455	1,582	18,548
	計画比	-73	-56	-23	-1	-26	-135	-135	-143	-71	-44	-29	-61	-797
	前年度	1,305	1,440	1,466	1,535	1,637	1,614	1,644	1,575	1,616	1,572	1,507	1,579	18,490
	前年比	212	147	101	107	-20	-159	-136	-128	-44	27	-52	3	58
SS	計画	420	434	420	434	434	420	434	420	434	434	392	434	5,110
	実績	403	376	326	363	284	311	362	368	390	391	378	434	4,386
	計画比	-17	-58	-94	-71	-150	-109	-72	-52	-44	-43	-14	0	-724
	前年度	377	317	340	280	283	230	283	346	415	352	351	408	3,982
	前年比	26	59	-14	83	1	81	79	22	-25	39	27	26	404

(2) 入退所者の状況

(人)

年度	入所者	入所前		退所者	退所理由	
		在宅 (SS・宅老所等含む)	医療機関他		死亡	長期入院等
6 年度	19	16	3	20	14	6
5 年度	22	21	1	12	10	2
前年度比	-3	-5	2	8	4	4

入所：19 名 (男性：3 名 女性：16 名) 退所：20 名 (男性：6 名 女性：14 名)

空床/空室期間 642 日

（３）取組と評価

（相談課）

特養では、前年度と比較して若干の稼働改善となるが、目標稼働の達成には至らなかった。大きな要因として、８月に新型コロナウイルスの集団感染が発生。終息まで約２ヶ月半の期間を要し、その後、状態低下による入院や死亡が多かった。

今年度は、１９名の入所調整を行った。申込者、待機者の医療的ニーズなどが多様化する中で、入所受付から待機に至る管理の見直しを行った。円滑な入所を行うことで稼働改善につなげていきたい。

ショートステイでも８月の新型コロナウイルスの発症に伴って、新規受入れ制限する等、稼働に影響があった。目標稼働には届かなかったが、緊急や継続利用者の確保を強化して１日平均１２名と一定の稼働数を維持することができた。

面会については、感染予防対策を継続しながらも、段階的に面会方法を緩和しながら対応した。利用者、家族等、職員が対面で接することで笑顔や信頼関係の構築につながった。

特養ではショートステイ定床化２床の増床申請、内示を受けた。令和７年６月から特養５６床、ショートステイ１４床へ定員を変更していく。

（介護課）

７月に職員の新型コロナウイルスの発症があった。職員、利用者へ感染拡大となり８月の集団感染につながった。感染対策及び法人内職員の協力調整を行い、終息まで、約２ヶ月半の期間を要した。期間中に感染した職員も多く、体調回復にも時間を要した。改めて、感染予防対策の徹底、教育を行った。

利用者対応では、骨折を伴う事故が年間３件発生した。うち２件は入院となり、１件は手術適応となった。所轄介護保険事務所への報告及び損害保険対応を行った。

また、接遇面や清潔、褥瘡対策ケア等に改善の必要性があり、基本ケアを忠実に実践できるように検討、改善を図りたい。

勤務シフト変更については利用者処遇の向上と職員の負担軽減（勤務間インターバルの確保等）を目的に協議、検討、試行を重ねた。次年度の６月から正式運用を見込み、取り組むことができた。

（医務課）

８月の新型コロナウイルス集団感染が終息に至るまでに累計で利用者４４名、職員２５名の罹患者があった。嘱託医と連携を図り感染対策及び利用者、職員の健康管理を行った。罹患後に状態低下や重症化する利用者が多く様子観察、施設内で可能な医療的対応を行った。今後、同様の感染拡大を繰り返さない為にも予防対策の啓発、教育を継続していきたい。

また、吸引や呼吸管理を必要とする利用者も多くみられた。特養での対応を超えた利用者は入院により退所に至るケースもあった。今後も嘱託医、家族、各関係職種と連携を図り介護、医療のサービス提供に努めていきたい。

介護、生活支援面での清潔、褥瘡対策ケア等に関しては専門職として予防ケア等の助言を継続していく。

(栄養課)

誤嚥性肺炎などの予防のために「嚥下調整食」について取り組み、食事メニュー提供の拡大ができた。献立による特徴を考慮した粘度などの試行を重ね、利用者にあった食事提供を行っていく。

8月の新型コロナウイルス感染対応時は職員感染も重なりマンパワー不足に陥った。最低限の栄養、水分量確保を行ったうえで、食事内容、回数等を調整して食事提供を行った。

地域貢献活動の一環として、「高齢者の栄養」をテーマに栄養教室を開催。参加者の質問、相談へも応じることができた。

給食材料の仕入れは、物価高騰が続く中で、特に主食となる米の高騰の影響が大きかった。経費節減につながるよう適正な使用に努めていく。

行事食は年間を通じ、季節を感じてもらうようにメニューの工夫を行った。誕生食については、感染対策を講じ、12月から家族も招き再開した。対面での会食に利用者、家族の双方に喜んでもらった。同時に職員も家族とコミュニケーション、交流を図ることができた。

3. 3 在宅サービス

3. 3. 1 居宅介護支援事業

(1) 利用実績 延べ数 2,399人 平均 199人/月(目標 217人) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	217	217	217	217	217	217	217	217	217	217	213	217	2,600
実績	212	207	203	203	200	195	202	199	202	192	191	193	2,399
計画比	-5	-10	-14	-14	-17	-22	-15	-18	-15	-25	-22	-24	-201
前年度	209	201	207	202	205	203	212	203	205	207	205	208	2,467
前年比	3	6	-4	1	-5	-8	-10	-4	-3	-15	-14	-15	-68

(2) 取組と評価

行政や地域包括支援センター等と連携を図りながら積極的に新規獲得に努めたが、要支援認定、入院の長期化、施設入所等により目標件数を達成することができなかった。

多様なニーズに対応しながら、適切なケアマネジメントの展開に努めてきたが、関係機関から1件の苦情を受けた。発生要因の分析、検証、改善を図り、信頼される事業所づくりに努めていきたい。

また、法人内事業所の紹介を行いながら、安定した事業運営ができるよう取り組んでいく。

3. 3. 2 通所介護事業（デイサービス）

デイサービスうれしの

（１）利用実績 延べ数 3,313人 平均 11.5人／日 稼働率 57.5%（目標71.5%）（人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	計画	350	360	350	360	360	350	360	350	360	360	334	360	4,254
	実績	308	312	276	287	241	265	281	278	261	188	148	149	2,994
	計画比	-42	-48	-74	-73	-119	-85	-79	-72	-99	-172	-186	-211	-1,260
	前年度	271	310	333	308	307	306	305	298	305	316	289	294	3,642
	前年比	37	2	-57	-21	-66	-41	-24	-20	-44	-128	-141	-145	-648
予防・事業対象	計画	9	11	9	11	11	9	11	9	11	11	7	11	120
	実績	12	13	12	12	7	13	13	13	13	34	39	13	194
	計画比	3	2	3	1	-4	4	2	4	2	23	32	2	74
	前年度	34	36	28	22	21	22	14	13	17	11	12	11	241
	前年比	-22	-23	-16	-10	-14	-9	-1	0	-4	23	27	2	-47
自費	実績	11	7	7	9	8	4	11	12	15	21	16	4	125

（２）取組と評価

事業所の広報活動として、民生委員へ事業所のポスター配布、嬉野市文化祭へ利用者作品の展覧を行った。利用者作品の亚克力束子は、近隣の保育園へ寄贈する等の活動を実施した。

目標稼働数については、新規利用者が4名と低迷した。地域内には通所介護事業所（有料老人ホーム併設含む）も多く、利用者確保が難しくなっていることから、達成できなかった。

稼働状況や見込みから、10月より土曜日の定休日追加と稼働に合わせた人員配置を行う等、事業運営の一部変更を行った。

さらに、令和7年7月から春風荘へ統合を決定。2月から統合に向けて利用者移行を開始した。円滑に移行ができるように取り組んでいる。

春風荘

(1) 利用実績 延べ数 6,296 人 平均 20.3 人／日 稼働率 67.6% (目標 76.7%) (人)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
介護	計画	440	450	440	450	450	440	450	440	450	450	418	450	5,328
	実績	456	424	414	423	401	387	386	365	356	356	345	406	4,719
	計画比	16	-26	-26	-27	-49	-53	-64	-75	-94	-94	-73	-44	-609
	前年度	398	424	414	421	424	460	463	435	448	416	400	420	5,123
	前年比	58	0	0	2	-23	-73	-77	-70	-92	-60	-55	-14	-404
予防・事業対象	計画	115	125	115	125	125	115	125	115	125	125	105	125	1,440
	実績	84	102	91	91	97	100	109	81	105	89	102	149	1,200
	計画比	-31	-23	-24	-34	-28	-15	-16	-34	-20	-36	-3	24	-240
	前年度	91	101	107	88	104	93	90	98	77	73	74	82	1,078
	前年比	-7	1	-16	3	-7	7	19	-17	28	16	28	67	122
自費	実績	27	38	34	31	27	24	34	26	33	19	21	63	377

(2) 取組と評価

目標稼働数については、新規利用者が 14 名と前年度比較で 16 名の減少となった。年々、新規の利用者確保が難しくなっている現状と、入院者や施設入所、逝去が重なり稼働数が伸び悩み、目標稼働の達成ができなかった。

レクリエーションについては、感染対策で控えていたドライブやボランティア団体の受入れを再開し、活動の活性化と社会交流を図ることができた。

通所介護事業所は令和 7 年 7 月から春風荘へ統合となる。2 月から統合に向けて利用者の受入れ調整を行い、円滑な移行ができるように取り組んでいる。

通所介護事業所の機能、役割を果たしながら、安定した事業運営ができるように取り組んでいく。

3 4 嬉野市受託事業

3. 4. 1 いきがいデイサービス事業（湯っくらと）

（１）利用実績 延べ数 1,755 人 平均 7.0 人 稼働率 58.3 %（目標 70.8%）（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
計画	186	196	169	196	162	178	196	178	170	170	170	179	2,150
実績	125	144	141	170	130	149	167	161	158	148	118	144	1,755
計画比	-61	-52	-28	-26	-32	-29	-29	-17	-12	-22	-52	-35	-395
前年度	155	171	152	143	145	176	155	156	142	140	158	136	1,829
前年比	-30	-27	-11	27	-15	-27	12	5	16	8	-40	8	-74

（２）取組と評価

事業計画に基づき、季節に応じた花見ドライブ等の実施ができた。また、買い物ドライブの代替として町内の訪問移動販売の受入れを行った。

目標稼働数については、体調不良、入院による長期欠席や自己都合による欠席から利用者数が伸び悩んだ。今後も広報活動を継続し、行政と連携を図りながら新規利用者の獲得や複数回利用の促進を行っていく。

3. 4. 2 在宅介護支援センター

（１）利用実績

（人）

相談内容	6 年度	5 年度	増減
二次予防高齢者調査	0	0	0
湯っくらと	0	0	0
配食サービス	0	0	0
介護手当	0	0	0
紙おむつ支給	13	13	0
介護保険関連	0	0	0
福祉サービス	0	0	0
その他	0	0	0
合計	13	13	0

（２）取組と評価

主な事業活動は、紙オムツ購入費助成の相談、調査であった。調査件数は 13 件程度となっているが、昨今の物価高騰で高齢者や家族にとって必要不可欠な助成事業となっている。今後も介護の相談窓口として、関係機関と連携しながら、高齢者や家族の負担や不安を解消していきたい。

3. 5 嬉野西部地域包括支援センター

(1) 利用実績 延べ数 1,269 人 平均 105.7 人 (月) (目標 95.0 人) (人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
計画	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	1,140
実績	90	89	95	98	103	109	108	108	115	118	118	118	1,269
計画比	-5	-6	0	3	8	14	13	13	20	23	23	23	129
前年度	94	92	98	105	103	103	95	92	97	96	91	91	1,157
前年比	-4	-3	-3	-7	0	6	13	16	18	22	27	27	112

(2) 取組と評価

地域の高齢者相談窓口として、多様な相談に対応してきた。事例としては、認知症進行に伴う徘徊による入院や家屋、敷地内のゴミ放置、身寄りがない独居世帯への支援について各行政機関、関係事業所と情報共有、連携を図りながら対応を進めてきた。

また、嬉野市社会福祉協議会と共同で認知症カフェ（嬉野地区）の開催や、担当する地区内事業所の運営推進会議への出席を行った。

開設 7 年を経過し、介護支援予防事業、包括的支援事業等を通じ、嬉野西部地域包括支援センターの機能が定着してきた。継続して役割を果たせるように努めていく。

4. 部門共通

(1) 年間行事

4月	入社式・辞令交付式 人事制度目標設定 目標管理面談 永年勤続表彰	10月	新卒者採用試験 消防訓練(特養) 衆議院議員総選挙不在者投票(特養、ケア) 特養夏まつり(レクリエーション)
5月	令和5年度決算監事監査 定例理事会 苦情解決委員会 夏期人事考課 床・カーペット清掃(通年で12回)	11月	冬期人事考課 人事制度評価委員会 インフルエンザワクチン接種 消防訓練(特養) 消防訓練(湯つくらーと) 嬉野市企業合同説明会
6月	定時評議員会 人事制度評価委員会 夏期賞与 ストレスチェック実施 資産総額登記 現況報告 エアロシールド定期メンテナンス 新人職員研修 特養家族会総会 消防訓練(春風荘)	12月	定例理事会 苦情解決委員会 冬期賞与 内部監査(法令遵守) 業務用空気清浄加湿器設置(レンタル3台) エアロシールド定期メンテナンス 高校生のための合同企業説明会 新人職員研修 介護サービス情報の報告
7月	臨時理事会(決議の省略) 福祉のお仕事合同企業説明会	1月	介護サービス情報の報告に係る調査 新型コロナワクチン接種 消防訓練(特養)
8月	臨時理事会(2回)	2月	人事制度面接・目標評価 防災、消防訓練(春風荘)
9月	臨時評議員会 臨時理事会 職員健康診断 敬老のお祝い	3月	定例理事会 人事制度評価委員会 人事異動内示 職員健康診断(夜勤従事者) 特養家族会行事(ボッチャ大会)

(2) 理事会・評議員会 議事

開催日	会議・出席	議案
R6.5.25	定例理事会 理事 5 名 監事 2 名	第 1 号議案 令和 5 年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会事業報告 第 2 号議案 令和 5 年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会収支決算について 第 3 号議案 理事候補者の推薦について 第 4 号議案 諸規程の一部改正 第 5 号議案 定時評議員会招集について 【報告事項】 理事長の職務執行状況報告
R6.6.11	定時評議員会 評議員 6 名 監事 2 名	報告事項 令和 5 年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会事業報告 議題 第 1 号議案 令和 5 年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会収支決算について 第 2 号起案 理事の選任について
R6.7.1	臨時理事会 ＊決議の省略 理事 6 名 監事 2 名	第 1 号議案 デイサービスセンターうれしの事業運営について 第 2 号議案 諸規程の一部改正について
R6.8.7	臨時理事会 理事 5 名 監事 1 名	第 1 号議案 理事会運営について
R6.8.29	臨時理事会 理事 4 名 監事 1 名	第 1 号議案 理事の選任案について 第 2 号議案 臨時評議員会の招集について 第 3 号議案 評議員選任・解任委員会運営規程の一部改正（案）について
R6.9.10	臨時評議員会 評議員 5 名 監事 1 名	第 1 号議案 理事の選任について
R6.9.10	臨時理事会 理事 5 名 監事 1 名	第 1 号議案 理事長の選定について 第 2 号議案 評議員選任・解任委員の選任について
R7.12.25	定例理事会 理事 5 名 監事 2 名	第 1 号議案 令和 6 年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会第 1 次補正予算（案）について 第 2 号議案 事業運営について 第 3 号議案 諸規程の一部改正について 【報告事項】 理事長の職務執行状況報告

R7.3.26	定例理事会 理事 5 名 監事 1 名	第 1 号議案 令和 6 年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会 最終補正予算（案）について 第 2 号議案 令和 7 年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会 事業計画及び当初予算（案）について 第 3 号議案 副施設長の選任について 第 4 号議案 諸規程の改廃（案）及び制定について 第 5 号議案 評議員の推薦について 第 6 号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 【報告事項】 理事長の職務執行状況報告
---------	-------------------------------	--

(3) 施設内会議・第三者参加委員会

会議・委員会	主な内容	開催状況
経営会議 (理事長、施設長、事務長、 業務部長、各部長)	事業運営、経営状況報告 経営戦略協議 事業計画進捗状況確認	12 回
部長会議 (事務長、業務部長、各部長)	経営会議指示事項等協議 経営戦略協議 事業計画進捗状況確認	24 回
部所会議 (業務部長、各部長、主任、副主任)	事業運営、経営状況報告 事業計画進捗状況報告 各課の情報交換	12 回
月次会議 (各事業所単位)	経営会議、部長会議、部所会議の報告 事業計画進捗状況確認 事業運営状況確認、協議	1 回／月程度
入所検討委員会 (第三者委員 3 名(委員長含む)、 施設長、事務長、業務部長、施設部 長、医務課主任、相談課主任・相談 員)	待機、辞退、入所状況確認 指針に基づいて待機者を点数で評価し、 入所の可否を決定	12 回 *内 1 回は書面 開催
入居決定会議 (施設長、事務長、総務部長、ケアハ ウス主任、入居予定者と家族)	ケアハウス入居の判定	1 回
家族会役員会 (家族会役員、施設長、事務長、 業務部長、施設部長、相談課)	家族会年間活動計画案協議 家族会総会準備 夏祭り、敬老会開催内容協議	3 回
苦情解決委員会 (苦情解決責任者、苦情受付担当 者、第三者委員)	苦情発生状況の報告 意見・要望の報告 第三者委員よりの意見	2 回
サービス担当者会議 (施設サービス部関係職員)	アセスメントとケアプランの周知 意見交換等	47 回 *内 4 回は書面 開催
嬉野西部地域包括支援センター 運営委員会	事業内容報告および意見交換	1 回

(4) 施設内委員会

委員会	主な活動	会議開催数
人材教育委員会	・職員研修会の企画、開催 ・介護支援専門員資格取得勉強会の企画、開催	12 回
感染対策委員会 (環境整備)	・月次報告 ・職場内感染報告、対策の啓発、周知 ・施設内点検、クлинデー実施 ・職員研修会の開催	11 回
事故対策委員会	・事故の状況把握、事例検討、防止策の指示および評価 ・職員研修会の開催	11 回
身体拘束廃止 高齢者虐待防止委員会	・月次報告 ・代替ケアの実践及び評価(身体拘束廃止) ・施設内ラウンド ・職員研修会開催	12 回
褥瘡予防対策委員会	・褥瘡予防対策の検討、実践および評価 ・職員研修会の開催	44 回
認知症ケア委員会	・マニュアル、チェックリスト見直し ・困難事例の検討 ・職員研修会の開催	11 回
防災対策委員会	・施設内設備等の点検、防災備品点検 ・消防訓練(3 回) ・防火、防災研修会開催	11 回
地域貢献活動委員会	・ホームページ動画作成、配信 ・ペットボトルキャップ、ベルマーク収集 ・クリーンアップ作戦(清掃活動)実施	11 回
ケア向上委員会 (抱え上げない介護)	・リフト等の機器使用の推進および取り組み等の評価 ・車椅子検討 ・職員アンケート	11 回
ケア向上委員会 (口腔ケア)	・口腔衛生管理体制についての計画、口腔衛生スクリーニングの作成、実践、評価 ・歯科医師による研修会(2 回) ・物品等の検討	11 回
夏祭り実行委員会	レクリエーションのみ実施(9/29)	5 回
敬老会実行委員会	祝舞披露、昼食会のみ実施(9/15)	5 回
衛生委員会 (産業医、衛生管理者他、労働安全衛生法の規定による)	・健康診断、ストレスチェック実施 ・安全防止計画の評価 ・年次有給休暇、長時間労働の管理 ・職員研修の開催	12 回
口腔内たん吸引等安全対策委員会	・吸引実施者の計画作成、実施、評価 ・フォローアップ研修	11 回
職員親交会	・役員会開催 ・忘年会の開催(新型コロナ感染症等の拡大予防の観点から小グループ単位で開催)	7 回

(5) 施設外委員会

委員会 (出席者)	主な内容	開催数
危機管理委員会 (施設部長)	県老施協主催の委員会。特別養護老人ホームの施設長等で編成される。 ・リスク管理に関する意見交換 ・委員会主催研修会の検討	4 回
通所介護部会 (在宅部長)	県老施協主催の委員会。デイサービスセンターの施設長等で編成される。 ・委員会主催研修会の検討 ・デイサービス運営の意見交換	4 回
生活相談員連絡会 (特養・ケアハウス生活相談員)	県老施協主催の委員会。 ・勉強会や意見交換	4 回
佐賀県介護支援専門員研修に係る演習指導等 (居宅管理者)	実務者、未経験、再研修受講者への演習指導等、ファシリテーター	6 回
嬉野東部地域包括支援センター運営委員会(在宅部長)	事業内容報告および意見交換	1 回
のほほんネットワーク会議 (居宅・地域包括)	市内居宅介護支援事業所との情報交換、事例検討	11 回
地域ケア個別会議 (地域包括)	利用者の自立支援に向け事例検討会議	12 回
嬉野市在宅医療介護連携推進会議、研修会(地域包括)	医療介護連携推進のための研修会企画、開催	5 回
認知症初期支援チーム員会議 (地域包括)	医療、介護の検討、計画立案	2 回
グループホーム・小規模多機能運営推進会議 (地域包括)	施設運営推進会議参加	13 回
介護認定審査会 (業務部長)	合議体による介護認定審査	11 回

(6) 職員研修会（職場内）

月日	研修形式	内容	講師	出席者 (書面)
4/17	通常開催	令和6年度事業方針および事業計画、規程変更について	施設長、管理職	全職員
5/22	通常開催	倫理と法令遵守、個人情報保護について	事務長	全職員
6/19～7/3	オンライン	感染予防・食中毒について	感染対策委員会	全職員
7/24	通常開催	防災対策、BCP 関連について	防災対策委員会	全職員
8/23～9/6	オンライン	身体拘束廃止・高齢者虐待防止について	身体拘束廃止 高齢者虐待防止委員会	全職員
9/18	通常開催	事故対策について	事故対策委員会	全職員
10/16	通常開催	感染予防対策について	感染対策委員会	全職員
11/20	通常開催	安全運転に関する研修	安全運転管理者	全職員
11/26～12/9	オンライン	接遇・マナーについて	人材教育委員会	全職員
12/18	通常開催	メンタルヘルスケアについて	衛生委員会	全職員
1/15	通常開催	身体拘束廃止・高齢者虐待防止について	身体拘束廃止 高齢者虐待防止委員会	全職員
2/19	通常開催	認知症ケアについて	認知症ケア委員会	全職員
3/17～3/31	オンライン	事故対策について	事故対策委員会	全職員

(7) 職員出張・研修(職場外)

月日	場 所	研 修 名	所 属	出席 数 (人)	役 職 名
4/5	オンライン	社会福祉法人の決算対策セミナー	特養	1	事務員
4/25	オンライン	第1回通所介護部会	居宅	1	在宅部長
5/1	オンライン	第1回危機管理委員会	特養	1	施設部長
5/13.14	佐賀県 社会福祉会館	新任職員研修	特養	2	調理員
5/15	ガーデンテラス佐賀	ケアマネジメント研修会	居宅	1	主任介護支援専門員
5/17	武雄市文化会館	公正採用選考求人説明会	特養	1	事務長
5/23	武雄税務署	給与支払者向け定額減税説明会	特養	2	事務長 総務部長
5/29	オンライン	第1回生活相談員連絡会合同ブロック会議	特養 ケア	2 1	生活相談課 ケアハウス主任
5/29	介護保険事務所	地域包括支援センターネットワーク会議	包括	2	センター長 管理者
6/11	佐賀県社会福祉会館	栄養士調理員連絡会	特養	1	管理栄養士
6/11～24	オンライン(動画配信)	WEB セミナー「プライバシー保護と法令遵守」	特養	1	事務長
6/14	介護保険事務所	新規介護認定調査員研修会	特養	1	介護支援専門員
6/19	佐賀県在宅生活サポ ートセンター	ノーマリットケアマネジメント	特養	2	介護職員 機能訓練指導員
6/24	嬉野市民センター	嬉野市就労対策支援事業「よかワーク」説明会	特養	1	事務長
6/26	オンライン	福祉事業所における感染対策力強化研修	ケア	1	ケアハウス主任
7/1.2.3	唐津赤十字病院	看護再就業支援研修会	特養	1	看護職員
7/5	SAGA プラザ大競技場	第1回福祉のお仕事合同就職面談会	特養	2	事務長 総務部長
7/5	佐賀県看護協会	再就業支援技術セミナー「採血・注射」	特養	1	看護職員
7/22.23 8/27.12/4	ガーデンテラス佐賀	介護支援専門員地域同行型研修	居宅	2	主任介護支援専門員 介護支援専門員
7/23	オンライン	説明力向上研修～部下・後輩のやる気の引き出し方～	特養	1	調理員
7/29.30	オンライン	地域包括支援センター職員基礎研修	包括	1	管理者

8/6	オンライン	ストレスマネジメント研修	特養	1	事務員
8/29	オンライン	第2回通所介護部会 WEB 形式	居宅	1	在宅部長
9/11.12.18.19.20	ガーデンテラス佐賀	介護支援専門員更新研修	包括 居宅	2	介護支援専門員
9/13	嬉野市リバティ	安全運転管理者講習	特養	1	安全運転管理者
9/21	佐賀市アバンセ	喀痰吸引実地研修前オリエンテーション(指導者対応)	総務課	1	業務部長
10/2	オンライン	支援につなげる記録の書き方研修	ケア	1	生活相談員
10/3	オンライン	特定給食施設栄養管理従事者研修会	特養	1	調理員
10/10～10/23	オンライン(動画配信)	組織で備える介護のカスタマーハラスメント	特養	1	事務長
10/21	ガーデンテラス佐賀	介護予防支援事業従事者研修会	包括	1	社会福祉士
10/30	佐賀市アバンセ	介護職員等による喀痰吸引実施のための研修	特養	1	介護職員
10/31.11/1	シーガイヤ(宮崎県)	九州老人福祉施設研究発表大会	特養 居宅 デイ	4	介護職員 事務員 介護支援専門員
11/6	鹿島市エイブル	年末調整説明会	特養	2	事務長 総務部長
11/8.12/13.1/23	オンライン	デジタル中核人材養成研修	特養	1	施設部長
11/9	佐賀サンライズパーク SAGA アリーナ	福祉用具・介護機器・リハビリ機器商品展示会 in 佐賀	特養	1	機能訓練指導員
11/13	佐賀県庁	認知症キャラバンメイト養成研修	包括	2	管理者 社会福祉士
11/15	鹿島市民ホール SAKURAS	要介護認定調査員現任研修会	特養 居宅	6	在宅部長 管理者 介護支援専門員
11/15	武雄市 北方公民館ホール	年金委員・健康保険委員合同研修会	特養	1	事務長
11/19	オンライン	次世代部会・生活相談員連絡会全体研修会	特養 ケア	2	生活相談員 ケアハウス主任
11/22	オンライン	第3回通所介護部会	居宅	1	在宅部長
11/22	オンライン	福祉現場における人材確保・育成・離職防止研修会	デイ 春風荘	3	副主任 生活相談員
11/22	オンライン	経営分析の理解を深め事業計画の策定に繋げる	総務	1	総務部長
11/23	サンメッセ鳥栖	診療報酬・介護報酬改定とこれからの栄養ケア・マネジメント	栄養課	1	管理栄養士

11/25	グランデはがくれ	第 3 回危機管理委員会	特養	1	施設部長
11/26.27	嬉野市リパティ	嬉野市合同企業説明会	特養	3	事務長 総務部長 機能訓練指導員
12/9	武雄市ケーブルワンス ポーツパーク	高校生のための県内企業合同説明会	特養	3	事務長 総務部長 機能訓練指導員
12/13	嬉野市中央公民館	多職種連携研修会 災害について考えよう	居宅	1	在宅部長
12/20	ガーデンテラス佐賀	実務研修実習指導者研修会	居宅	3	管理者 主任介護支援専門員
1/9、他	ガーデンテラス佐賀	介護支援専門員実務研修	特養 包括	3	施設部長 試験合格者 2 名
1/17	佐賀県社会福祉会館	佐賀県老人福祉施設研究発表会	特養	1	事務員
1/17	西九州大学	ソーシャルワーク実習報告会及び実習勉強会	特養	1	業務部長
1/28	佐賀市アバンセ	介護スキルアップ講座「褥瘡ケア」	特養	2	介護職員
1/28 他	ガーデンテラス佐賀	佐賀県介護支援専門員実務・未経験更新・再研修に係る 演習指導者、ファシリテーター	居宅	1	管理者
2/12	メートプラザ佐賀	介護、障害福祉分野の更なる処遇改善補助金対応セミナー	特養	2	事務長 総務部長
2/13	オンライン	第 3 回生活相談員連絡会ブロック会議	特養 ケア	2	生活相談員 ケアハウス主任
2/14	オンライン	第 4 回通所介護部会	居宅	1	在宅部長
2/17	介護保険事務所	地域包括支援センターネットワーク会議	包括	1	管理者
3/17	白石町総合センター	認知症・人生会議 ～老いに備えるいい話～	居宅	1	主任介護支援専門員

(8) 実習等の受け入れ

依頼先	人数	内容	期間	受入事業所
嬉野高等学校	2 年 (4 人)	介護福祉士養成研修	① 6/26～7/9 ② 7/22～8/2 ③ 12/4～12/10 ④ 2/20～2/26	デイサービスうれしの
	2 年 (6 人)	介護福祉士養成研修	① 6/26～7/9 ② 7/22～8/2 ③ 12/4～12/10	春風荘
	3 年 (3 人)	介護福祉士養成研修	① 6/26～7/9 ② 7/22～8/2	特養
	1 年 (4 名)	介護福祉士養成研修	① 12/5～12/10 3 名 ② 12/24～12/27 1 名 ③ 2/20～2/26 4 名	特養
嬉野医療センター付 属看護学校	3 年 40 人	地域・在宅看護論 実習Ⅲ	① 5/27～11/12 (21 グループ)	居宅
	2 年 35 人	地域・在宅看護論 実習Ⅱ	① 10/7～10/9 ② 10/10～10/16 ③ 10/17～10/21 ④ 10/22～10/24 (4 グループ)	特養
佐賀県介護保険事業 連合会	2 人	介護支援専門員実務 者研修実習	① 2/3～12	居宅
西九州大学短期大 学	1 人	教員免許要件に該当 する実習	① 9/9～9/13	デイサービスうれしの
佐賀大学	1 人	教員免許要件に該当 する実習	① 10/21～10/25	春風荘
西九州大学短期大 学	2 人	栄養士実習	① 11/11～11/15	栄養課
嬉野中学校	2 人	職場体験	① 9/19	デイサービスうれしの

(9) ボランティア・訪問

氏名・団体名	活動内容	受入事業所	日付
下宿保育園	七夕飾り、お遊戯披露、交流	ケアハウス	7/3
井手川内保育園	七夕飾り、お遊戯披露、交流	春風荘	7/3
町内小中学校	ボランティアスクール	特養	7/26
福田章様、他 3 名	カルタ	春風荘	8/23
藤間優嘉様、他門下生	舞踊 (特養・ケアハウス敬老会)	特養 ケアハウス	9/15
嬉野カラオケ同好会	歌、舞踊	春風荘	9/18
原口的様	舞踊	春風荘	9/19
嬉野地区婦人会	歌、体操	特養	11/24
西九州大学	事前体験学習	特養	2/20～3/9
ゆめさが大学	舞踊、手品等	春風荘	3/11

(10) 介護事故、ヒヤリ・ハットの発生状況

(介護事故件数)

事業所	6年度	5年度	増減
特養	44	41	3
ショートステイ	10	12	-2
デイサービス	3	3	0
ケアハウス	3	6	-3
春風荘	3	3	0
湯っくらーと	0	0	0
その他	0	0	0
合計	63	65	-2

(ヒヤリ・ハット件数)

事業所	6 年度		5 年度	増減
		職員起因		
特養 ショートステイ	153	44	195	-42
デイサービス	8	1	18	-10
ケアハウス	7	0	7	0
春風荘	21	2	48	-27
湯っくらーと	0	0	2	-2
その他	0	0	0	0
合計	189	47	270	-81

(介護事故の内訳)

事故内容	特養		ショートステイ		デイサービス		ケアハウス		春風荘		湯っくらーと		合計	
	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度
転倒・転落	17	8	1	4	1	0	1	5	2	2	0	0	22	19
裂傷・自傷	21	25	4	5	1	2	2	0	0	1	0	0	28	33
誤嚥・異食	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
誤薬、薬に関するもの	3	3	5	3	1	1	0	1	0	0	0	0	9	8
その他	2	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	4
計	44	41	10	12	3	3	3	6	3	3	0	0	63	65

*事故による受診件数・・・ 5件（前年度比 6件減）

*保険者等報告件数・・・ 7件（前年度比 4件減）

【評価】

前年度と全体比較してヒヤリハット81件の減少、介護事故2件の減少となった。
また、事故による受診5件、保険者等報告7件はすべて特養、ショートステイ事業所の報告となる。
重大事故として、骨折を伴う報告3件。うち入院2件。うち1件は手術適応となり利用者、家族に対して損害保険等の対応を行った。

高齢者特有の身体状態や認知症症状による行動に対して危険予測もって対応し、安全対策にかかる意識を共有して再発防止と安全なケアの提供に努めていく。

(11) 労働災害の状況

	内容	対策・対応
1	8/2、特養、ショートステイ事業所から4名の利用者が新型コロナウイルスを発症。累計で利用者44名が発症した。8/3～11までに罹患した利用者対応に従事していた11名の介護、看護職員が同感染症を発症。症状軽快するまで自宅療養となり、労働者死傷病報告を提出した。	平時から感染予防対策を講じてきたが、特養で集団感染が発生した。 感染予防および発症時対応の再確認及び研修会を開催。平時の健康管理と感染対策時の職員教育に努めていく。

(12) 苦情・意見の状況

【苦情解決委員会】

第1回 令和6年5月

第2回 令和6年12月

(苦情件数) 2件

事業所	件数	申出人	内容	対応・結果
総務課	1	その他 (地域住民等)	【車両運転について】 町内みゆき通りにて時速70km程度で運転走行している。安全運転に努めてもらいたい。	報告内容から運行状況を確認。当日、該当車両は車検で業者預かりとなっていた。車検後、業者による納車の際の運転であった。業者へ苦情内容を申し出。業者担当者および責任者へ注意喚起、指導を行った。 法人内職員についても通勤及び業務車両を運転する機会が多く安全運転等にかかる注意喚起を行った。また、ホームページにて安全運転に関する取り組みについて掲載した。
居宅	1	医師 (町内開業医)	【ケアマネジメントについて】 担当利用者にかかる書類、対応等にかかる苦情。医師氏名の記載間違い、記載内容等についても指示的な記載など不適切な内容が継続している。以後、	事業所管理者にて医師へ経緯及び内容確認を行い、謝罪を行った。担当ケアマネジャーの交代を行うと共に、同内容の事案等がないか確認した。当該ケアマネジャーへ

			担当ケアマネジャーの変更してもらいたい旨の内容であった。	再教育を行い、他職員へも情報共有を行った。関係機関等へ関わり方等について周知、改善に取り組んだ。
--	--	--	------------------------------	--

(意見・要望件数) 0 件